# 倉敷中央病院年報投稿規定

（2025 年 5 月 14 日改定）

**論文募集と採否**

1. 本誌は年１回3月末に発行する．原稿の締め切りは，一般部門10月末，ジュニアレジデント部門8月末とする．
2. 投稿者は倉敷中央病院職員および職員が推薦した者とする．
3. 原稿内容は医療分野の学術論文で，総説，原著，症例報告，短報などとする．総説は原則として編集委員会の依頼によるものとする．
4. 投稿論文は国内外を問わず他誌に未発表であり，投稿中でないこと．
5. 投稿論文は年報編集委員の査読を受ける．なお査読により，原稿の加筆，修正，削除などを要請することがある．

**倫理**

6. ヒトを対象とした研究にあたっては，ヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守すること．動物を対象とした研究にあたっては，医学生物学的研究に関する国際指針の勧告に準拠すること．
7. 患者または被験者の人権を損なうことのないよう十分に配慮すること．

**執筆要項**

8. 原稿は和文または英文とする．
9. 原稿はデジタルデータにて投稿することとし，直接E-mailで編集委員会に送る．
10. データ形式はMicrosoft社製Word，Excel，PowerPointのいずれかを使用のこと．左記以外のソフトを使用する場合はtext形式とし，機種，使用ソフトを明記すること．
11. 原稿の体裁は，①タイルペ－ジ，②和文要旨（400字以内），③英文要旨（200 words 以内），④本文，⑤文献，⑥図の説明（言語は本文の言語と一致させる），⑦図および表とする．短報の場合，和文要旨は不要．
12. タイトルペ－ジには，表題，著者名，所属（以上和文および英文），Key word（原著は5語以内，症例報告，短報は3語以内），ショートタイトル（和文20字以内，英文7 words以内）を記入する．
13. 本文は，原著は Ⅰ．緒言，Ⅱ．対象と方法，Ⅲ．結果，Ⅳ．考察の順序で，症例報告は Ⅰ．緒言，Ⅱ．症例，Ⅲ．考察の順序で記述する．
14. 原稿の長さは原著については制限しないが，あまりに過長なときには削減を依頼することがある．症例報告については，図表・文献を含めた原稿の長さを6000字以内とする．なお，図表は1個400字と換算する．短報については，本文は和文1600字以内，英文A4用紙2枚以内，図表3個以内，文献5個以内とする．
15. 外国人名，地名，薬品名は原語（活字体）で書き，日本語化している外来語はカタカナを用いる．学名はイタリック体を用いる．薬品名は一般名を使用し，商品名はカッコ内に入れ（…®）とする．略語は最初に用いるときは必ずフルスペルで表記すること．
16. 他の著作物より図・表等をそのまま，もしくは修正を加えて引用するときは，その出典を明らかにすること．また，掲載許可を得るための著作権者との交渉は著者が行い，使用料が発生する場合は著者が費用を負担すること．
17. データの収集・解析または図の作成に生成AIを用いた際は，本文または図の説明に用いた生成AIの名称，ヴァージョン，製造元を記載すること．



Presented by Medical*Online

18. 患者のプライバシーを守るため，以下の項目を原稿，図表内に記入してはいけない：患者名，イニシャル，ID，住所（都道府県名は可），臨床経過が特定できうる日時（20XX年○月上旬，中旬，下旬，入院後○日，術後○日などの表記にすること），患者の顔が写った写真．以下の項目は記入してもよい：患者の年齢，性別，居住場所（自宅，施設，病院など）．
19. 症例報告は，患者もしくは家族の同意を得ること．
20. 臨床研究の場合は，医の倫理委員会ないし臨床研究審査会の承認を得ている旨を本文中に明記すること．
21. 学会またはジュニアレジデント症例発表会で発表した内容を投稿する場合は，本文の最後に“本稿の要旨は第○回○○で発表した”と付記すること．

**文献の記載**

22. 文献の記載順序は本文中での引用順とし，本文中の引用箇所には肩番号を付して照合すること．
23. 文献の書き方は次のように統一する．誌名の略記は，国内雑誌は避け，外国雑誌はPubMedに従う（記載例参照）．

**［雑誌］**

著者名（共著者が4名以上の場合は，最初の3名を書いたうえで，「ほか」または「et al.」とする）．論題．誌名 発行年;巻(号):開始頁-終了頁．

1）山口健太郎，中川悟，薮崎裕ほか．Paclitaxel+low-dose FP術前化学療法が奏効し原発巣が消失した進行胃癌の1例．癌と化学療法2006;33(8):1163-1166.
2）Mitchell PL, Goldstein D, Michael M, et al. Addition of gabapentin to a modified FOLFOX regimen does not reduce oxaliplatin-induced neurotoxicity. Clin Colorectal Cancer 2006;6(2):146-151.

**［単行本］**

著者名．論題（章の見出し）．編者名．書名（シリーズ名）．版数（あれば），発行所，発行地，発行年，開始頁-終了頁．

1）相原道子，池澤善郎．薬疹．中川秀巳編．皮膚科疾患（看護のための最新医学口座19）．第1版，中山書店，東京，2001，pp 61-67.
2）Sasako M. Surgical management of gastric cancer: the Japanese experience. In: Daly JM et al, eds. Management of Upper Gastrointestinal Cancer. WB Saunders, London, 1999, pp 107-122.

**［オンライン文献］**

書誌記述方法の詳細は，印刷媒体の引用方法を参照すること．なお，冊子体がある場合は，冊子体の記述とすること．著者名．論題［媒体］．書誌またはURL [accessed yyyy-mm-dd]

1）Durgan DJ, Bryan RM Jr. Cerebrovascular consequences of obstructive sleep apnea [internet]. J Am Heart Assoc 2012;1(4):e000091. doi:10.1161/JAHA.111.000091. [accessed 2013-02-21]
2）水口雅，岡明，奥村彰久ほか．急性脳症の全国実態調査．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 重症・難治性急性脳症の病因解明と診療確立に向けた研究 平成22年度研究報告書 [internet]. http://www. development. m. u-tokyo. ac. jp/Acute%20Encephalopathy/H22_Acute Encephalopathy. pdf [accessed 2012-12-13]

**［Webページ］**

著者名．タイトル［媒体］．URL [accessed yyyy-mm-dd]

1）日本医書出版協会：著者の皆様へ―著作物の利用にあたって [internet]. http://www. medbooks. or. jp/forauthor/ [accessed 2013-02-21]

**校正**

24. 著者校正は原則として1回行うが，その際大幅な変更は避ける．なお，やむを得ず大幅な変更のある場



Presented by Medical*Online

合は編集委員会に連絡のこと.

**著作権**

25. 掲載された論文（図・表を含む）の複製権，二次的著作物利用権，譲渡権等は倉敷中央病院年報編集委員会に譲渡されたものとする．著者自身のこれらの権利の行使を拘束するものではないが，再利用する場合は，事前に倉敷中央病院年報編集委員会まで連絡すること.

**公開方法**

26. 本誌に掲載された論文は，目次を当院ホームページ，全文をメディカルオンラインにて公開する.

**利益相反**

27. 投稿者は，論文内容に影響を及ぼす可能性のある利益相反関係（例：研究費・特許取得を含む企業との財政的関係，公的研究費に基づくかどうか等）の有無を当院の「臨床研究に係る利益相反管理規程」に準じて判断し，タイトルページおよび本文の最後に明記すること．利益相反関係がある場合は，関係する企業・団体名も明記する（記載例参照）.

本研究は○○○○の資金提供を受けた.

利益相反関係：なし.

**原稿提出先**

28. 倉敷中央病院年報編集委員会

〒710－8602 倉敷市美和1－1－1　　電話 086－422－9234

メールアドレス kurachu-nenpou@kchnet.or.jp



Presented by Medical*Online